

【教科名】 英語

【学年】 第3学年 【担当】

田中 豪

【学習計画】

	単元	主な学習内容	時数
1 学 期	Unit 1 School Life Around the World	受け身の文, let/help+人・もの+動詞の原形, tell+人+that+文	12
	Unit 2 Our School Trip	現在完了形の「完了」や「経験」の用法	10
	Unit 3 Lessons From Hiroshima	現在完了形の「継続」, 現在完了進行形, It is ~(for 人)+to+動詞の原形	10
	Daily Life 2 ディスカッション	受け身の文やI think ~, would like to ~	2
	Daily Life 2 留守番電話	電話での特有な表現, や現在完了形, let+人+動詞の原形	2
	Active Grammar 1	現在完了形/現在完了進行形	2
	Let's Read 1 From the Diary of Kawamoto Itsuyoshi	接続詞when, afterや受け身の文, 不定詞の副詞的用法	5
	World Tour1 Living With Animals	現在完了形や数の言い方	1
	Unit 4 AI Technology and Language	関係代名詞which, who, thatが主語となる構文	3
2 学 期	Unit 4 AI Technology and Language	関係代名詞which, who, thatが主語となる構文	6
	Let's Read 2 Robots Make Dreams Come True	関係代名詞や受け身の文, let/help+人+動詞の原形, It is ~(for人)+to+動詞の原形	9
	Daily Life 3 ポスター	関係代名詞 thatが主語となる文	2
	Unit 5 Plastic Waste	関係代名詞which, thatが目的語となる文や後置修飾	12
	Daily Life 4 ニュース	関係代名詞that, whichや現在完了形, 現在完了進行形, It is ~+to+動詞の原形	2
	Unit 6 The Chorus Contest	動詞の-ing形や過去分詞による後置修飾や間接疑問文	12
	Active Grammar 2 後置修飾	後置修飾の使用場面, 意味, 文の形	5
	Unit 7 Tina's Speech	疑問詞+to+動詞の原形やIf…の仮定法	7
World Tour 2 How Do We Live?	If…の仮定法や間接疑問文	1	
3 学 期	Unit 8 Goodbye, Tina	I wish…の仮定法	7
	Let's Read 3 Changing the World	関係代名詞, 動詞の-ing形による後置修飾, 間接疑問文, 疑問詞+to+動詞の原形, If…の仮定法	4
	You Can Do It! 2	復習	10
	You Can Do It! 3	復習	4
	Let's Read More 1 The Runner Wearing Number 67	受け身の文, 比較表現, 過去分詞による後置修飾, 間接疑問文	4
	Let's Read More 2 Visas for 6,000 Lives	受け身の文や現在完了形, 現在完了進行形, If…の仮定法の構文	4
	Let's Read More 3 The Adventures of Tom Sawyer	不定詞の副詞的用法や形容詞的用法, let+人+動詞の原形, 疑問詞+to+動詞の原形	4
		【合計時間】	140

【評価計画】

評価の観点	割合	観点の趣旨	評価項目
知識・技能	1	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	単語/単元テスト ライティングテスト 定期考査
思考・判断・表現	1	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。	単元テスト 定期考査 パフォーマンステスト
主体的に学習に取り組む態度	1	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	単元テスト パフォーマンステスト 定期考査 授業での取組

【学習計画】

	単元	主な学習内容	時数
1 学 期	【詩】 岩が	表現の工夫、詩に込められた思い	2
	【小説】 握手	小説の解釈 小説の細部の検討・主題の考察	4
	【話聞】 グループディスカッション	進行の仕方・合意形成・表現	5
	「批判的に読む」とは 【評論】 間の文化	抽象と具体 情報と情報の関係 評論の読解 筆者の主張 自己の考えの形成	4
	【書】 課題作文	課題作文の作成	3
	【言語】 四字熟語・和語・漢語・外来語	言葉の理解・語彙	2
	【俳句】 俳句の世界／俳句十句	俳句の意味の理解 俳句の解釈・鑑賞	3
	【書】 批評文	論理の展開・表現・資料の引用	4
	【書写】 全国文字マップ 文字の使い分け	身の回りにある文字に関心をもつ	2
	【話聞】 聞き取りテスト	聞く力	1
	【随想】 希望	批判的に読む 自己の考えの形成	2
		読書指導	読書の意義と効用を知る
2 学 期	【論説】 フロン規制の物語	論理の展開・表現の工夫	4
	【漢字・語彙】 慣用句・ことわざ・故事成語	言葉の理解・活用 語彙	1
	【書写】 三年間のまとめ	楷書・行書・かな	3
	【話聞】 パブリックスピーキング	論理の展開・説得力・話す力	3
	【古文】 和歌の世界 万葉集・古今和歌集・新古今和歌集	和歌の理解と鑑賞 知識をもとに鑑賞につなげる	3
	【古文】 おくのほそ道	伝統的な言語文化の理解 古文の理解	3
	【漢文】 論語	漢文の読み方・漢文特有の表現やリズム・自己の考えの形成	3
	【書写】 活用 漢字一字で表現すると	文字列の大きさ・余白・行間・表現	2
	【論説】 情報社会を生きる 【実用文】 広告の読み比べ	論理の展開・要旨 自己の考えの形成	4
	【書】 ポスター	ポスターの作成	3
	【小説】 「故郷」	小説の読解・主題の考察	4
	【話聞】 ブックトーク	説得力・表現・評価	2
	【言語】 表現につながる文法	語感を磨く	1
	【書写】 書き初め	楷書・行書・かな	6
3 学 期	【詩】 初恋	詩を味わう 語感を磨く	2
	【論説】 「文殊の知恵」の時代	論理の展開・要旨 自己の考えの形成	3
	【書写】 【話聞】 名言集	構成・自己の形成・表現	6
	【小説】 坊ちゃん	場面の展開・登場人物の描写（関係・心理）・言動の意味	5
	【話聞】 集団討論	話の構成や表現の工夫 合意形成	3
	【言語】 敬語	敬語の機能・敬意表現	1
	【書】 課題作文	課題作文の作成	2
	【言語】 文法のまとめ 問題演習	文法の総復習 三年間の総まとめ	2 6
		【合計時間】	105

【評価計画】

評価の観点	割合	観点の趣旨	評価項目
知識・技能	1	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	発言・ワークシート・ノート 作品・小テスト・定期考査など
思考・判断・表現	1	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	発言・発表・話し合い 聞き取りテスト・作文・ノート ワークシート・定期考査など
主体的に学習に取り組む態度	1	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。	授業での取組 発言・ノート 提出物など

【教科名】 **社会** 【学年】 **第3学年** 【担当】 **茂田井一人**

【学習計画】

	単元	主な学習内容	時数
1 学 期	【歴史】 第一次世界大戦と民族独立の動き	第一次世界大戦、民族自決	10
	【歴史】 世界恐慌と日中戦争	世界恐慌、満州事変、日中戦争、戦時体制と国民生活	10
	【歴史】 第二次世界大戦	第二次世界大戦、太平洋戦争、国民統制、ポツダム宣言	10
	【公民】 現代社会の特色	グローバル化、情報化、少子高齢化、文化	5
	【公民】 私たちの生活と文化	伝統文化、多文化共生	4
	【公民】 現代社会の見方や考え方	社会集団、効率と公正、決まりを作る目的と方法	5
2 学 期	【歴史】 現代の日本と世界	GHQ占領、日本国憲法、冷戦、日本の経済復興、世界の多極化	7
	【公民】 人権と日本国憲法	人権の歴史、日本国憲法の三原則	8
	【公民】 人権と共生社会	基本的人権、平等権、自由権、社会権、新しい人権	10
	【公民】 現代の民主政治	民主主義、政治参加と選挙、政党政治、世論	8
	【公民】 国の政治の仕組み	国会の地位と仕組み、内閣、裁判所の仕組みと働き、三権分立	8
	【公民】 消費生活と経済	契約と消費生活、消費者の権利を守るために	6
	【公民】 生産と消費	企業の種類、労働の意義と労働者の権利	6
3 学 期	【公民】 市場経済の仕組みと金融	市場経済、価格、貨幣、金融機関、景気と金融政策	5
	【公民】 政府の役割と国民の福祉	財政活動、社会保障、少子高齢化	4
	【公民】 これからの経済と社会	公害防止と環境保全、グローバル化する日本経済、貿易自由化	8
	【公民】 国際社会の仕組み	国際連合、地域主義、経済格差	7
	【公民】 様々な国際問題	環境問題・資源問題・貧困問題・新しい戦争	7
	【まとめ】 3年間の復習	入試予想問題・入試対策	12
【合計時間】			140

【評価計画】

評価の観点	割合	観点の趣旨	評価項目
知識・技能	1	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	定期考査・プレテスト 確認テスト
思考・判断・表現	1	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	定期考査 ワークシート レポート
主体的に学習に取り組む態度	1	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	授業での取組・発言 提出物 単元の学習振り返シート

【教科名】 **理科** 【学年】 **第3学年** 【担当】 **大隈 由美子**
佐々木 貴志

【学習計画】

	単元	主な学習内容	時数
1 学 期	単元1 化学変化とイオン	第1章 水溶液とイオン	9
		第2章 酸、アルカリとイオン	11
		第3章 化学変化と電池	10
	単元2 生命の連続性	第1章 生物の成長と生殖	8
	単元4 地球と宇宙	プロローグ 星空をながめよう	2
		第1章 地球の運動と天体の動き	9
2 学 期	単元2 生命の連続性	第1章 生物の成長と生殖	3
		第2章 遺伝の規則性と遺伝子	10
		第3章 生物の多様性と進化	7
	単元3 物体の運動	第1章 物体の運動	12
		第2章 力のはたらき方	9
	単元4 地球と宇宙	第2章 月と金星の見え方	7
		第3章 宇宙の広がり	5
	単元5 地球と私たちの未来のために	第1章 自然のなかの生物	5
3 学 期	単元3 物体の運動	第3章 エネルギーと仕事	14
	単元5 地球と私たちの未来のために	第2章 自然環境の調査と保全	5
		第3章 科学技術と人間	7
		地域とつながる 自然災害と地域のかかわりを学ぶ	3
		終章 持続可能な社会をつくるために	4
【合計時間】			140

【評価計画】

評価の観点	割合	観点の趣旨	評価項目
知識・技能	1	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	定期考査 レポート 小テスト など
思考・判断・表現	1	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	定期考査 レポート 小テスト など
主体的に学習に取り組む態度	1	自然の事物・現象に進んで関り、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	提出物 授業に取り組む姿勢 など

【学習計画】

	単元	主な学習内容	時数	
1 学 期	日本の歌のよさや美しさ	言葉の発音や身体の使い方を工夫し、創意工夫を生かして表現する。	2	
	音楽の特徴や背景と魅力	生活や社会における音楽の意味や役割について考える。	2	
	歌唱表現の工夫	歌詞の内容や諸要素の関わりについて考え、ふさわしい表現をする。	4	
	曲種に応じた発声	声の音色や響きと言葉や曲種に応じた発声との関わりを理解する。	2	
	歌唱表現の工夫	歌詞の内容や諸要素の関わりについて考え、ふさわしい表現をする。	2	
2 学 期	歌唱表現の工夫	歌詞の内容や諸要素の関わりについて考え、ふさわしい表現をする。	4	
	日本の楽器の演奏（伝統の継承）	和楽器の特徴を理解し、基本的な奏法を生かして演奏する。	2	
	我が国の伝統音楽と世界の諸民族の音楽	様々な音楽の特徴と、音楽の多様性を理解する。	4	
	リズムアンサンブルの創作	音の重なりや反復、変化、対照などの特徴を理解して創作表現する。	3	
	伝統的な歌唱と和楽器	楽器の音色や響きと奏法の関わりを理解し、身に付ける。	2	
3 学 期	伝統的な歌唱と和楽器	楽器の音色や響きと奏法の関わりを理解し、身に付ける。	1	
	創作表現の工夫	音楽の諸要素や構成を知覚し、まとまりのある創作表現をする。	5	
	歌唱表現の工夫	歌詞の内容や諸要素の関わりについて考え、ふさわしい表現をする。	2	
【合計時間】			35	

【評価計画】

評価の観点	割合	観点の趣旨	評価項目
知識・技能	1	・曲想と音楽の構造や背景などとの関り及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表現している。	授業への取組・発言 提出物・実技テスト 定期考査
思考・判断・表現	1	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	ワークシート・教科書 定期考査
主体的に学習に取り組む態度	1	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	授業への取組・発言 実技テスト・提出物 ワークシート 振り返りシート

【教科名】 **保健体育** 【学年】 **第3学年** 【担当】 **笹岡宙希・細井翔平**

【学習計画】

	単元	主な学習内容	時数
1 学 期	体育理論	文化としてのスポーツの意義	3
	体づくり運動	集団行動、体力を高める運動、体ほぐしの運動	4
	陸上競技	短距離・リレー	7
	球技	ネット型	7
	水泳	クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ	4
2 学 期	水泳	クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ	3
	器械運動	マット運動	7
	球技	ネット型、ゴール型、ベースボール型から2種目	14
	陸上競技	高跳び・幅跳び・ハードル走・長距離走	6
	球技	ネット型、ゴール型	6
3 学 期	器械運動	跳び箱運動	7
	球技	ネット型、ゴール型、ベースボール型	21
保健（1～3学期）			16
【合計時間】			105

【評価計画】

評価の観点	割合	観点の趣旨	評価項目
知識・技能	1	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	授業観察/学習カード 実技テスト・小テスト 提出物/定期考査
思考・判断・表現	1	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	授業観察/学習カード 実技テスト・小テスト 提出物/定期考査
主体的に学習に取り組む態度	1	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組もうとしている。	授業観察/学習カード 提出物

【教科名】 家庭 【学年】 第3学年 【担当】 中村 美奈子

【学習計画】

	単元	主な学習内容	時数
1 学 期	自分の成長と家族・家庭生活	家庭分野ガイダンス、家庭を支える社会	1
	幼児とのかかわり	ふれあい体験について、子どもの成長と地域	1
	幼児の生活と遊び	幼児のための布おもちゃ作り(遊び道具の製作)	3
2 学 期	幼児の生活と遊び	幼児のための布おもちゃ作り(遊び道具の製作)	3
	自分の成長と家族・家庭生活	中学生にとっての家族	1
	家庭生活と消費	消費生活のしくみ・収入と支出	1
	購入・支払いと生活情報	様々な購入方法と支払い方法・売買契約について	1
		情報を活用した上手な購入	1
3 学 期	消費者被害と消費者の立場	消費者被害・消費者の権利と責任	2
	持続可能な社会	消費生活が社会や環境に与える影響	2
	持続可能な家庭生活	三年間のまとめ	1
【合計時間】			17

【評価計画】

評価の観点	割合	観点の趣旨	評価項目
知識・技能	1	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の進度や内容 ・ワークシートやレポートの内容 ・実習の取組の様子 ・定期考査
思考・判断・表現	1	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取組 ・ワークシートの内容 ・製作やレポートの内容 ・定期考査
主体的に学習に取り組む態度	1	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取組、活動の様子 ・ワークシートの内容 ・作品やレポートの内容

【教科名】 技術

【学年】 第3学年 【担当】

佐々木 勇暉

【学習計画】

	単元	主な学習内容	時数
1 学 期	情報の技術	生活や社会と情報の技術	1
		情報とコンピュータ	2
		情報の表現と伝達	1
		計測・制御による問題解決	2
2 学 期	情報の技術	双方向性のあるコンテンツによる問題解決	8
3 学 期	情報の技術	情報セキュリティと情報モラル	2
		これからの情報の技術	2
【合計時間】			18

【評価計画】

評価の観点	割合	観点の趣旨	評価項目
知識・技能	1	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	製作品の進捗・内容 ワークシート・レポート 実習の取組 定期考査
思考・判断・表現	1	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	授業への取組 ワークシートの内容 製作品・レポート 定期考査
主体的に学習に取り組む態度	1	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	授業への取組、 活動の様子 ワークシートの内容 製作品・レポート 準備物・提出物

